

実家じまいチェックリスト

家族で話すとき・帰省のときに使ってください

記入日： 年 月 日

【1】話し合い

- ☐ 親の希望（住み続けたいか、残したい物）を聞いた
- ☐ きょうだいの事情（帰省できる頻度・時間）を共有した
- ☐ 連絡の窓口役と、記録を残す場所を決めた
- ☐ 次に話す日を決めた

【2】重要書類・貴重品の「ありか」

- ☐ 通帳・キャッシュカード・印鑑
- ☐ 家の権利証（登記識別情報）・固定資産税の書類
- ☐ 保険証券（生命保険・火災保険など）
- ☐ 年金・健康保険・介護保険の書類
- ☐ スペアキー・貸金庫の有無
- ☐ デジタルの契約（ネット銀行・サブスクなど）の一覧

【3】仕分け

- ☐ 「残す／迷う／手放す」の3つの箱を用意した
- ☐ 残す物を親に選んでもらった
- ☐ 「迷う」の箱に日付を書いた
- ☐ 写真・手紙のデジタル化の担当を決めた
- ☐ 仏壇・神棚の扱いを菩提寺や家族と相談した

【4】業者に頼む場合

- ☐ 自分でやる範囲と、頼む範囲を決めた
- ☐ 2～3社から見積もりを取った
- ☐ 作業内容・追加料金の条件・キャンセル料を確認した
- ☐ 一般廃棄物処理業の許可（または市区町村の委託）を確認した
- ☐ 契約内容を書面で受け取った

【5】家とライフライン

- ☐ 家の行き先の方向性（住む・貸す・売る・解体・管理）を家族で共有した
- ☐ 名義・相続・税金のことは専門家（司法書士・税理士など）に相談した
- ☐ 電気・ガス・水道・電話・新聞・NHK・保険の契約先を一覧にした
- ☐ 郵便物の扱いを決めた

【困ったときの相談先】

消費生活のトラブル：消費者ホットライン188／法律の相談：法テラス・弁護士・司法書士／税金：税理士・税務署／ごみの出し方・許可業者：お住まいの市区町村

※相続・登記・税金・法律の判断は、司法書士・税理士・弁護士・自治体の窓口などにご相談ください。／出典・詳しい解説：やさしい終活ノート「実家じまいは何から始める？」